



三春町農業委員会だより No.3

発行日 平成 29年 12月 1日

第14回三春秋まつりに参加しました。

11月4日・5日の2日間三春町運動公園駐車場で開催された三春秋まつりにおいて、農地や農業者年金に関する相談コーナーを設けました。

農地所有者の方が相談し易い環境づくりを行うとともに農業委員・最適化推進委員の顔が見える存在になるよう努めました。

また、これに併せパンジー・ビオラの花苗や寄せ植えなどを販売しました。花苗を購入された方には農業委員、推進委員が丹精込めて育てたカボチャをプレゼントし大変喜ばれていました。



農業委員会防寒ジャンパーを作製しました。

三春町農業委員会では農業委員・推進委員の活動用として防寒ジャンパーを作製しました。防寒ジャンパーは農業委員会のロゴマークを胸にあしらい色は帽子と同じ緑色にしました。これにより、農業委員会の一体感が図れるだけでなく、住民の皆さんからの認知度も上昇するものと期待されます。

防寒ジャンパーは現地調査や会議、研修会、イベントなどで着用いたしますので、見かけましたら気軽に声をお掛けください。



農地パトロール・マグネット板（自動車用）を作製しました。

農地転用等の現地調査や農地パトロールの際、自動車に貼るマグネットシートを作製しました。

マグネットシートには住民の方の目を引くとともに親しみやすさを出すため、町のマスコットキャラクターである「こまりん」を印刷しています。これからも、農地利用の最適化に努めていきます。



編集・発行 三春町農業委員会
三春町字大町 1-2
電話 0247-62-2112

三春町農業委員会先進地視察研修



11月16日・17日の2日間一泊二日の日程で先進地視察研修を実施しました。

1日目は岩手県陸前高田市において大規模園芸施設を視察しました。

大規模園芸施設は平成26年度に陸前高田市が「被災地域農業復興総合支援事業」によりトマトと

トマト栽培を行うハウス



イチゴを栽培することを目的にパイプハウスが整備され、栽培管理は(株)JA おおふなとアグリサービスが市から管理運営業務を委託されています。

トマト栽培は土壌を使用せずに高品質なトマトを生産できるとされる「アイメック農法」を採用し、平成27年1月から栽培を開始し、約10ヶ月間の通年収穫が行われています。

イチゴ栽培は岩手県が開発した「閉鎖型高設栽培システム」を用い平成27年9月から栽培を開始し、12月から収穫が始まり翌年6月頃までの7ヶ月間収穫が行われています。

イチゴ栽培を行うハウス



大規模園芸施設の運営を円滑に進めるに当たっては、関係機関と受託業者である(株)JA おおふなとアグリサービスの代表者も加えた「陸前高田市大規模園芸施設運営協議会」が設置され支援体制が整えられています。

2日目は宮城県栗原市において「松島交配のタネ」として販売を行っている(株)渡辺採種場の瀬峰研究農場を視察しました。

まず、はじめに農場長より会社の概要や沿革、品種改良の大変さを伺いました。その後、農場の見学を行い、いろいろな野菜や新品種の育成状況の説明を受けました。

農場長の説明の様子



農場での説明の様子

